

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	鋼矢板遮水工の効率的な施工管理及び止水強化方法
御提案者	電源開発株式会社
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>本技術は、電源開発株式会社が所有する火力発電所で発生した石炭灰の管理型廃棄物海面処分場建設において、護岸遮水工として鋼矢板を適用した際に採用した施工管理及び止水強化方法である。鋼矢板を用いて遮水壁を構築する際に、継手部遮水性の信頼性向上策に係る要素技術として提案するものである。</p> <p>打設される鋼矢板に設置した測距用ターゲットを、座標既知点に設置したトータルステーションで視準して得られた測距データに基づいて鋼矢板頭部の三次元座標を演算処理装置で演算し、この三次元座標によって鋼矢板頭部の平面位置、打設高さ、打設速度を算出することで、鋼矢板の垂直精度や根入れ深さなどの建て込み精度の効率的な打設管理、すなわち一元的な打設管理ができる。</p> <p>また、本技術で使用する鋼矢板はポケットを継手部に有するものであり、その継手部に沿って予め水膨張性ゴム及び被覆電線を取り付け、打設時にその絶縁抵抗値を計測し絶縁抵抗の有無によって、リアルタイムに鋼矢板の継手部 (水膨張性ゴム) の健全性を確認しながらの打設管理が可能になる。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 電源開発株式会社 響灘3号埋立地建設工事のうち遮水護岸工事において、適用。 開発・実用化に向けた課題・留意点 実績現場の鋼矢板打設部の地層は、捨石層・粘土層・砂層及び風化した岩盤層で構成されており、岩盤層に対して適用実績はない。 その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 特許第5070174号「鋼矢板の打設管理装置及びその打設管理方法」 特許第5102734号「鋼矢板及び鋼矢板遮水壁、並びに止水ゴムの損傷推定方法」 特許第5192338号「鋼矢板及び鋼矢板遮水壁、並びに止水ゴムの損傷防止方法」 特許第5192339号「鋼矢板及び鋼矢板遮水壁、並びに鋼矢板の打設方法」 港湾空港技術研究所資料 No. 1262「廃棄物海面処理場の遮水工施工時の品質管理・評価方法の検討」2012.12 	